

***親子で納得

ニュース経済学



経済ジャーナリスト・内田裕子

15兆円のお金の使い道をチェック

4月10日、麻生首相が15兆円という巨額の「緊急経済対策」を発表しました。いま、世界は不況でお金が動いていません。本来お金を循環させるのは銀行の役目ですが、いま、銀行はとても調子が悪い。お金を借りられない企業も調子が悪い。企業の調子が悪いと社員のお給料が減る。お給料が減るとみんなのおうちではお金を使えなくなる。こんなふうに悪い循環がいったん始まると、ますます不況になってしまいます。これは病気のかぜと似ています。かぜはひき始めの対応が大切。すぐに薬を飲んで対処しておけば早くなおりますが、放っておいたら、どんどん悪くなってしまいます。ひどい場合は、肺炎にもなりかねません。そうすると元通りの元気な体に回復するのに、た

くさん時間がかかってしまいます。だから大人たちは「早いうちに不況をなおさなくちゃ」とあせっているのです。

「世の中にお金が動いていないのなら、国民の税金である大事なお金を使ってでも、お金を動かして景気をよくしよう」と、発表したのが「緊急治療」ならぬ「緊急経済対策」なのです。

4月2日、G20という国際会議で「みんなで合計5兆ドル（約500兆円）、国のお金を使って景気を刺激しようね」と各国の首相が約束をしました。日本は世界で2番目に大きな経済規模を持つ国なので、世界からの期待はとても高いのです。それもあって、麻生首相は10日に、15兆4000億円という過去最大の追加経済対策を発表しました。いま、みんなに配られている定額給付金の合計が約2兆円ですから、今回の「緊急経済対策」がどれだけ大きい額か分かりますね。

世界経済のために、日本が役割を果たすことは大切です。でも日本にはお金がありません。だか

ら今回、「緊急経済対策」のために、日本政府は国債を10兆円も発行しました。つまりお金の流れをつくらだすために、ばく大な借金をしたのです。でもお金は借りたら返さなければならぬ。これは国も人も同じですね。ではどうやってこの借金を返済するのでしょうか。それは増税なのです。だから麻生首相は「景気が良くなったら消費税を上げさせてね」と国民にお願いしているのです。この借金を返すのはみなさんです。借金をしてまで実施する景気対策なので、意味があることに、使ってもらわなければ困ります。どんな使い道が提案されているのか、じっくりチェックしましょう！



緊急経済対策を発表した麻生首相

プロフィール 玉川大学芸術学部演劇専攻卒業後、大和証券に入社。2000年に財部誠一事務所に移籍。製造現場の取材や経営者のインタビューなどの仕事をこなす。テレビ出演、執筆、講演活動を通じて経済の情報を伝えている。